

別添

SIP第3期 サブPD推薦書

令和5年4月20日

プログラムディレクター
松本 英三

SIP第3期「豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築」について、サブPDとして以下の者をガバニングボードに推薦する。

課題番号	氏名	所属・役職	担当	役割	G B 決定日
01	門脇 光一	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 理事	サブPD (サブ課題A,B,D担当)	サブ課題A(植物性タンパク質(大豆)の育種基盤構築と栽培技術確立)、サブ課題B(肥料の国内循環利用システム構築)、サブ課題D(国産大豆等を利用した豊かな食設計システムの開発)の推進に関して、総括的にマネジメントを行う。	
01	佐野 雅昭	鹿児島大学 水産学部 教授	サブPD (サブ課題C担当)	サブ課題C(動物性タンパク質(水産物)の次世代養殖システム構築)の推進に関して、総括的にマネジメントを行う。	
01	種村 菜奈枝	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 室長	サブPD (サブ課題E担当)	サブ課題E(行動科学のアプローチを用いた質の高い食生活の実現に向けた研究開発)の推進に関して、総括的にマネジメントを行う。	
01	大西 茂志	全国農業協同組合連合会 テクニカルアドバイザー	サブPD (社会実装に向けた戦略の推進、関係省庁・産業界との連携担当)	全サブ課題の社会実装に向けた戦略の推進、関係省庁・産業界との連携に関して、総括的にマネジメントを行う。また、サブ課題Aのうち栽培技術体系の確立についてマネジメントを行う。	
01	南部 哲宏	株式会社 博報堂 ビジネスプロデューサー	サブPD (社会実装に向けた戦略の推進、関係省庁・産業界との連携担当)	全サブ課題の社会実装に向けた戦略の推進、関係省庁・産業界との連携に関して、総括的にマネジメントを行う。	